

医療情報部

1 構 成 員

	平成22年3月31日現在
教授	1人
准教授	1人
講師（うち病院籍）	0人（0人）
助教（うち病院籍）	0人（0人）
助手（うち病院籍）	0人（0人）
特任教員（特任教授，特任准教授，特任助教を含む）	0人
医員	1人
研修医	0人
特任研究員	0人
大学院学生（うち他講座から）	0人（0人）
研究生	2人
外国人客員研究員	0人
技術職員（教務職員を含む）	0人
その他（技術補佐員等）	1人
合 計	6人

2 教員の異動状況

木村 通男（教 授）（H8. 10. 1.～現職）

谷 重喜（准教授）（H9. 6. 1.～H19. 3. 31 助教授; 19. 4. 1～現職）

3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成21年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	1編（0編）
そのインパクトファクターの合計	3.12
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	7編
(3) 総説数（うち邦文のもの）	4編（3編）
そのインパクトファクターの合計	1.69
(4) 著書数（うち邦文のもの）	1編（1編）
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0編（0編）
そのインパクトファクターの合計	0.00

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し，共著者が当該教室に所属していたもの

1. *J. Nakaya, M.Kimura, K. Hiroi, K. Ido, W. Yong, H. Tanaka: Genomic Sequence Variation

(2) 論文形式のプロシーディングズ

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 木村通男, 中安一幸, 大島好恵, 藤田伸輔, 中島直樹, 城崎俊典, 古田輝孝, 清水俊郎, 下邨雅一, 佐々木文夫, 藤木俊樹, 中島隆, 豊田建, 星久光, 作佐部太也, 渡邊浩, 谷重喜: 厚生労働省電子的情報交換事業 SS-MIX - その構造と多種の応用 SS-MIX: A Ministry Project to Promote Standardized Health information Exchange - Its Structure and Wide Variety of Applications, 第13回日本医療情報学会春季学術大会JAMIシンポジウム2009プログラム・演題抄録集, 24, 2009.
2. 谷重喜, 木村通男: 病院情報システムの堅牢化と災害時システムに関する研究, 第29回医療情報学連合大会, 医療情報学, 第29回医療情報学連合大会論文集 29-Suppl, 876-877, 2009.
3. 渡辺浩, 谷重喜, 木村通男: SS-MIX標準化ストレージを介した「HIS-FileMaker」連携の手法 第29回医療情報学連合大会, 医療情報学, 第29回医療情報学連合大会論文集 29-Suppl, 646-647, 2009.

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

1. 藤本剛士, 樋口真一, 渡辺浩, 谷重喜, 木村通男: 実際の臨床データベースを用いて検討した個人情報の匿名化についての研究 - 検索条件による匿名性の変化 -, 第29回医療情報学連合大会, 医療情報学, 第29回医療情報学連合大会論文集 29-Suppl, 737-741, 2009.
2. 樋口真一, 藤本剛士, 渡辺浩, 谷重喜, 木村通男: 実際の臨床データベースを用いて検討した個人情報の匿名化についての研究 - 症例発表における曖昧化 -, 第29回医療情報学連合大会, 医療情報学, 第29回医療情報学連合大会論文集 29-Suppl, 742-743, 2009.

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

1. 中島直樹, 野田光彦, 鍵本伸二, 古賀龍彦, 木村通男, 田嶋尚子: 糖尿病臨床におけるIT化の真のニーズを発掘する, 第29回医療情報学連合大会, 医療情報学, 第29回医療情報学連合大会論文集 29-Suppl, 326-329, 2009.
2. 折井孝男, 木村友美, 山本尚功, 藤田利治, 下邨雅一, 木村通男, 三澤馨: 医薬品の安全性を科学する - 病院情報システムの二次利用の可能性 -, 第29回医療情報学連合大会, 医療情報学, 第29回医療情報学連合大会論文集 29-Suppl, 337-339, 2009.

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Kimura M: Health Informatics in Japan, Update, 2008-2009, METHODS OF INFORMATION IN MEDICINE 48(6), 564-565, 2009.

2. 木村通男：IHE ITI RFD－各種文書の形式作成，記入，送付，受取，保存，INNERVISION 24(9), 95-97, 2009.
3. 木村通男：HISリプレイスと標準化のメリット 2015年の入れ替えのために，月刊新医療36(11), 30-33, 2009.
4. 木村通男：医療のIT化を進めるには，標準化とともに国民にメリットを訴えていくことが必要，IT VISION, NO.20, 22, 2010.

インパクトファクターの小計 [1.69]

(4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 木村通男（編集）：電子カルテ・医療情報システム部品集2010，(株)インナービジョン，2009.

4 特許等の出願状況

	平成21年度
特許取得数（出願中含む）	0件

5 医学研究費取得状況

	平成21年度
(1) 文部科学省科学研究費	1件 (110万円)
(2) 厚生労働科学研究費	4件 (1,390万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0件 (0万円)
(4) 財団助成金	0件 (0万円)
(5) 受託研究または共同研究	1件 (300万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	0件 (0万円)

(1) 文部科学省科学研究費

谷 重喜（代表者）萌芽研究「2次元超音波プローブによるリアルタイム3次元ならびに平面断層超音波装置の開発」110万円（継続）

(2) 厚生労働科学研究費

木村通男（代表者）地域医療基盤開発推進研究事業

診療録等標準形式情報を活用した各種文書の作成・情報共有に関する研究
(H21－医療－指定－012) 800万円（新規）

木村通男（分担者）地域医療基盤開発推進研究事業

日本版EHR（生涯健康医療電子記録）の実現に向けた研究
(H19－医療－一般－014) 200万円（代表者：田中博（東京医科歯科大学））

木村通男（分担者）地域医療基盤開発推進研究事業

医療の質の向上のための医療情報利活用における標準化と相互運用性推進に関する諸課題の研究（H20－医療－一般－031）190万円

(代表者：大江 和彦 (東京大学))

木村通男 (代表者) 長寿医療研究委託事業

老年疾患コホート研究を含む高齢者医療 (医療技術、チーム医療等を含む。) の標準化、治験データベースの検討 (21-指-1) 200万円

(代表者： 細井 孝之 (国立長寿医療センター))

(5) 受託研究または共同研究

木村通男

標準化規格準拠の電子的医療情報データの利活用に関する研究

日本電気株式会社 300万円 (2010.1.12- 2011.3.31)

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	3件	5件
(2) シンポジウム発表数	2件	1件
(3) 学会座長回数	3件	4件
(4) 学会開催回数	2件	0件
(5) 学会役員等回数	2件	6件
(6) 一般演題発表数	4件	

(1) 国際学会等開催・参加

1) 国際学会・会議等の開催

10th International HL7 Interoperability Conference 2009, May 8, 2009, Kyoto, Japan
(President)

The 6th Asia Pacific Association for Medical Informatics (APAMI2009), November 22-24,
Hiroshima, Japan. (President)

2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演

Kimura M.: How Nice it is, to Have HL7 Standardized Storage -Wide Varieties of Applications out of Ministry' s Projects Based on HL7, 10th International HL7 Interoperability Conference 2009, May 8, 2009, Kyoto, Japan. (基調講演)

Kimura M.: Is Information coming out of EMR for clinical research?, JCMIT2009, 26, October 3, 2009, Taipei, Taiwan. (招待講演)

Kimura M.: What are the Medical Records for?, APAMI President Panel, A01, November 22, 2009, Hiroshima, Japan. (基調講演)

3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表

Kimura M. AsiaPac Informatics- Update on Informatics Activities from Pacific Rim Countries, Late Breaking Session, AMIA 2009, November 16, 2009, San Francisco, USA.

Kimura M. Telemedicine Project in Japan, dead or alive?, The 3rd Asia Telemedicine Sym-

posium, December 11, 2009, Fukuoka, Japan.

4) 国際学会・会議等での座長

Kimura M.: 10th International HL7 Interoperability Conference, Kyoto, Japan, May, 2009.

Kimura M.: HIMSS AsiaPac

Kimura M.: The 4th CDISC Japan Interchange, Tokyo,

5) 一般発表

口頭発表

Kimura M.: Advancing Interoperability Across the Globe: An Update on the IHE Initiative Worldwide, HIMSS09, Education Session, April 5, 2009. Chicago, USA.

Kimura M.: IHE RFD Connection Test (Advance Event Reporting) with Ministry Project SS-MIX, at HL7 Kyoto Working Group Meetings, The 5th Interchange Japan, July 17, 2009, Tokyo.

Kimura M., Takenouchi K. : Adverse Event Report on IHE RFD (Retrieve Form for Data capture) with Japan's Ministry Project SS-MIX. an HL7 Standardized HIS Data Export Promotion, CDISC Interchange North America2009, November 12, 2009, Baltimore, USA.

Kimura M.: Survey for Asia-Pacific Countries/Regions; "What are the Medical Records for?", 2009 KOSMI-CJKMI Symposium, 30-31, October 30, 2009, Daejeon, Korea.

(2) 国内学会の開催・参加

2) 学会における特別講演・招待講演

木村通男：電子診療データ CDの発行について, 日本ラジオロジー協会 CyberRad 2009.

4月17日, 2009, 横浜市 (チュートリアル講演)

木村通男：医療IT化の明暗, 第59回日本病院学会, 7月24日, 2009. 熊本市

木村通男：HL7・オントロジー・DPC病院運営に欠かせない標準化技術～その基礎から応用, 日本麻酔科学会第56回学術集会, 8月17日, 2009. 神戸市.

木村通男：病院情報システム (電子カルテ) に蓄積された情報の研究利用 - 厚生労働省医療情報標準化推進事業SS-MIXの成果と普及 -, EDCフォーラム, 8月24日, 2009.

スウェーデン大使館, 東京都

木村通男：HISとは何か?, 病院情報システムからデータは出るか?,

日本QA研究会GCP部会総会, 9月7日, 2009. 東京都.

3) シンポジウム発表

木村通男：厚生労働省診療情報交換推進事業SS-MIX - その構造と多種の応用, 第13回日本療情報学会春季学術大会 (JAMIシンポジウム2009), プログラム・演題抄録集, 24,

6月14日, 2009, 長崎市

4) 座長をした学会名

木村通男: 第13回日本医療情報学会春季学術大会 (JAMIシンポジウム2009) 6月13~14日, 2009. 長崎市.

木村通男: 第29回医療情報学連合大会 (第10回医療情報学会学術大会), 11月22日~25日, 2009. 広島市.

谷重喜: 第29回医療情報学連合大会 (第10回医療情報学会学術大会), 11月22日~25日, 2009. 広島市.

木村通男:平成21年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議, 1月日~日, 2009. 岡山市. 2. シンポジウム「移植医療の学際的検証」, 座長, 日本生命倫理学会大会, 横浜市, 2009. 11. 14

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

Kimura M.: President, Asia Pacific Association of Medical Informatics

Kimura M.: Chairman, International Medical Informatics Association (IMIA) Working Group 16 (Standardization)

木村通男 日本医療情報学会 副会長

木村通男 日本医療情報学会中部支部会 世話人

木村通男 日本医学放射線学会 電子情報委員会委員

木村通男 日本医学放射線学会中部地方会 世話人

木村通男 日本IHE協会 運営委員会 委員, 国際委員会 委員長, ITI-PLUS委員会 委員

木村通男 日本HL7協会 会長, 技術委員長

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数 (レフリー数は除く)	0件	3件

(2) 外国の学術雑誌の編集

Methods of Information in Medicine, Schattauer, Germany, Editorial Board, PubMed/MEDLINE登録あり, インパクトファクター: 1.69

International Journal of medical Informatics, Elsevier, Ireland, Editorial Board, PubMed/MEDLINE登録あり, インパクトファクター: 3.12

Journal of Biomedical Informatics, Academic Press Inc. Elsevier Science, USA, Editorial Board, PubMed/MEDLINE登録あり, インパクトファクター: 2.43

(3) 国内外の英文雑誌のレフリー

6回: Methods of Information in Medicine (ドイツ)

2回: International Journal of Medical Informatics (アイルランド)

9 共同研究の実施状況

	平成21年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

10 産学共同研究

	平成21年度
産学共同研究	0件

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

1. 厚生労働省標準的医療情報交換推進事業SS-MIXの指導

静岡県版電子カルテシステム開発事業 (<http://www.mi.hama-med.ac.jp/emr/>) に技術検討委員長として参画し、静岡県内において、病診、病病連携の推進、患者の希望に基づくデータの提供、後述のオブジェクト指向データベース（本講座にて開発）による臨床情報についての柔軟な検索、一部の情報種において、ペーパーレス電子カルテの実現を可能とした。平成20年には、県内7箇所の病院で導入された。この事業の一部は、厚生労働省の標準的医療情報連携推進事業（SS-MIX）に採用され、当該事業の総括をおこなっている。成果物は静岡県のみならず、千葉県、福岡県、山形県で導入が進んでおり、導入医療機関は21年末現在、50機関になっている。

ここでの成果物（標準ストレージ）の導入が、平成22年度募集予定の厚生労働省地域医療再生基金において、そのIT分野での事業採択の条件となっている。

（木村通男，谷重喜，渡辺浩）

13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

1. 臨床データベースの薬剤安全への応用

先述した臨床データベースの機能を拡充し、特定の注意すべき薬剤の処方がある状態の患者に投与された時、薬剤部へメールによる自動配信するシステムを開発した。具体的には、白血球数が低下した患者に抗癌剤を処方した場合などである。このようなデータベースは、他に例がなく、薬剤安全への寄与が期待され、独立行政法人 医薬品医療機器総合機構（PMDA）による「医療情報データベースの薬剤安全性情報収集への利活用」プロジェクトの対象として、浜松医大病院をはじめ、同様なデータベースを持つ静岡県下5病院が選ばれた。

14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

1. 臨床データベースの薬剤安全への応用

先述した臨床データベースを用いた独立行政法人 医薬品医療機器総合機構（PMDA）のプロジェクトは、平成25年度までの5年計画の継続研究となっている。